

2021年度 BCOJ ボード委員会活動報告

ビール酒造組合 国際技術委員会 議長 梅澤 祐輔

2021年度のビール酒造組合国際技術委員会（Brewery Convention of Japan、以下 BCOJ）ボード委員会の活動につきまして、以下のとおりご報告いたします。

記

2021年度の国際技術委員会は、下記のメンバーで活動した。

議長	梅澤 祐輔		(サントリービール(株))
ボード委員	石田 文人		(サッポロビール(株))
	上村 和彦	(4月まで)	(アサヒビール(株))
	中村 勇一	(4月から)	(アサヒビール(株))
	永嶋 一史		(麒麟ホールディングス(株))
	樽岡 誠		(オリオンビール(株))
分析委員長	渡辺 敬之		(サッポロビール(株))
プログラム委員長	岡田 啓介		(アサヒビール(株))
専務理事	板垣 武志	(9月まで)	
	岸野 博行	(9月から)	
審議役	善本 裕之		
	川野輪 隆	(4月から)	
	水谷 正憲	(9月から)	
	久保田 寛	(8月まで)	
	長谷川 真澄	(3月まで)	
事務局長	熊谷 武士		(サントリービール(株))

【活動内容】

2021年も新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けながらの活動となった。その中でも BCOJ 活動の目的の実現に向けて、オンラインを活用した活動などに柔軟に取り組み、国際技術委員会を5回、分析委員会を7回、プログラム委員会を7回開催した。

<BCOJ 活動の目的>

1. ビール醸造及び関連産業に於ける原料、資材、生産物を評価するための分析法の統一
2. ビール製造技術者相互交流による科学的、技術的研究の促進
3. 同様の目的を持つ他の国外及び国内の組織との協働

1. 海外関連団体との技術交流

(1) American Society of Brewing Chemists (以下、ASBC)への参画について

新型コロナウイルスの影響により、2021年のASBC年次大会は6月7～9日にASBC Virtual Meeting

ASBCとしてオンラインで開催された。本年はBCOJとして現地に赴いての参加は見送ることとした。

(2) BCOJ 年次大会の開催について

2021年11月11～12日に第30回BCOJ年次大会を開催した。新型コロナウイルスの影響を鑑み、完全オンラインでのリアルタイム開催というBCOJとしては初めての形式で実施した。オンライン開催のなか、加盟ビール各社、関係官庁、企業等から計327名が参加した。昨年コロナ禍で開催を中止してから2年ぶりの開催となったが、年次大会での発表を通じて、魅力的な商品の開発や美味しさの実現、品質保証、に関する技術的知見の向上につながる、活発な技術発表と意見交換が行えた。

今回はBCOJ年次大会の30周年記念大会となり、BCOJボード議長、分析委員長、プログラム委員長より30周年を迎えるにあたってBCOJの活動トピックスや今後の展望について、報告を行った。さらにASBC議長（Mr. David Maradyn）、EBC議長（Mr. Benet Fité Luis）からもビデオメッセージをいただいた。

また、2020年にBCOJ功績賞受賞を受賞されたアサヒクオリティードイノベーションズ株式会社の鈴木康司氏の受賞式を本大会にて改めて執り行い、盾と花束の贈呈、鈴木様による記念講演が行われた。

更に、招待講演としてインテグリカルチャー株式会社 代表取締役 CEO 羽生 雄毅氏より「細胞培養による食糧生産へ」と題して講演をいただいた。



梅澤ボード議長による開会挨拶



オンライン開催の会場の様子



BCOJ 功績賞授賞式 ((写真左)2020 年功績賞受賞者 鈴木氏)

2. 分析委員会による活動報告

・分析委員会の活動報告参照

3. プログラム委員会による活動報告

・プログラム委員会の活動報告参照

4. ボード委員会の開催

(1) 第1回ボード委員会（4月16日：オンライン開催）

【主な議題】①国際学会に関してBCOJとしての現地に赴いての参加見送りを判断した。②BCOJ功績賞受賞者審議を行なった。③BCOJ年次大会開催を議論し、リアルタイムのオンライン形式での実施の意思決定を行った。

(2) 第2回ボード委員会（9月17日：オンライン開催）

【主な議題】①2021年BCOJ年次大会の内容について詳細確認を行った。②2022年以降のBCOJ年次大会開催スタンスについて議論した。

(3) 第3回ボード委員会（11月11日：オンライン開催）

【主な議題】①2021年の予算着地、2022年予算案の検討を行った。②ビール酒造組合の2021年アルコール関連共同研究内容について確認を行った。

(4) 第1回臨時ボード委員会（11月19日：オンライン開催）

【主な議題】①ビール酒造組合のアルコール関連共同研究内容における動物実験の取り扱いについて議論した。

(5) 第4回ボード委員会（12月7日：ビール酒造組合+オンライン開催）

【主な議題】①2021年活動振り返り、及び2022年活動計画の確認を行った。②2022年予算の審議を実施した③ビール酒造組合のアルコール関連共同研究内容における動物実験の取り扱いについて議論した。

以上

（文責：事務局長 熊谷 武士）

2021 年度 BCOJ 分析委員会活動報告

分析委員会委員長 渡辺 敬之

副委員長 乾 隆子

2021 年度の分析委員会は下記メンバーで活動した。2021 年 1 月 1 日より 12 月 31 日の活動期間を通じ、分析委員会を 7 回開催した。

委員長 : 渡辺 敬之 (サッポロビール株)
副委員長 : 乾 隆子 (サントリービール株)
委員 : 室 公志 (麒麟ホールディングス株)
表 雅之 (アサヒビール株)
仲村 周 (オリオンビール株)
神谷 隆史 (サッポロビール株)
乾 隆子 (サントリービール株) 副委員長兼任

ビール酒造組合審議役 :

長谷川 真澄 (サッポロビール株) 3 月まで
久保田 寛 (サントリービール株) 8 月まで
善本 裕之 (麒麟ホールディングス株)
川野輪 隆 (サッポロビール株) 4 月から
水谷 正憲 (アサヒビール株) 9 月から

1. 2020 年度 BCOJ 共同実験

2018 年から開始した「SPME-GC/MS 法を用いたビール中のホップ香気成分分析」について、最適な分析条件が固まったので、BCOJ 加盟 5 社を含む 12 試験室にてコラボ試験を実施した。取得データの統計解析の結果、分析対象 3 成分のミルセン、リナロール、ゲラニオールの内いずれも HorRat 値は 2.0 以内と良好な結果であり、コラボ試験が成立した。

年内に答申書の作成を進め、Brewing Summit 2022 にてポスター発表を実施予定。

(幹事会社 : サッポロビール株)

2. RTDへのアルコール分析のためのアルコライザー適用

国税庁所定以外のアルコール分の測定法の登録を目指し、2019 年から品目別の出荷量で大部分を占めるリキュールとスピリッツに対するアルコライザー法適用を検討してきた。本年度、BCOJ 加盟 5 社より 10 試験室がコラボ試験に参加し、蒸留法との測定値の乖離、室内・空間再現精度において問題ないことを確認した。

国税庁への申請登録が完了し、10 月 8 日国税庁 HP に、測定方法番号 12「BCOJ ビール分析法 RTD-

1 及び RTD-2 アルコライザー法によるアルコール分の測定」として掲載された。スピリッツについては、アルコール分 20.0 容量%以下のものに限り、リキュールについては、アルコール分 10.0 容量%以下、エクス含量 13.0 度以下のものに限るほか、スピリッツ及びリキュールについて、15℃条件下において 4 倍以内の範囲で水による希釈を行うことが可能。

今後の課題として、各社からの要望があれば、本法で許可されていない 4 倍より高い希釈や、さのうや濁りのあるサンプルのろ紙ろ過や遠心分離操作を実施しても問題ないか検討を進める。

(幹事会社：キリンホールディングス㈱)

3. BCOJ ビール分析法の改訂について

ビール分析法は 2013 年の CD-ROM 版が最新で、それ以降更新されていない状況にある。

また、利便性や社会情勢を考慮し、書籍や CD 版ではなく電子版による定期的な改訂が望ましいとの方向性で、各社委員、審議役で意見が一致した。したがって、来年の主な活動の一つとして、分析法の改定項目の決定と改定原稿の作成を必須とし、併行してどのように電子版化を進めていくか検討していく。

4. 2021 年度 BCOJ 勉強会

以下内容で勉強会を開催した。事前に講師と勉強会の内容を相談し、基礎的な内容を踏まえつつ、共同実験テーマにも即した実務的内容とし、結果、大変有意義な勉強会となった。

日時：2021 年 6 月 4 日（水）15:00～17:00

方法：Microsoft Teams によるオンライン会議

出席者：ビ組審議役含め加盟各社から 43 名が参加

テーマ：「分析の不確かさ -トップダウン法とボトムアップ法-」について

講師：産業技術総合研究所 計量標準総合センター 田中秀幸先生

5. 国際協力活動

(1) EBC 分析委員会への参加

2021 年 11 月 30 日、EBC 分析委員会が完全オンライン形式にて開催された。正副委員長 2 名が参加し、渡辺委員長より BCOJ 活動報告を実施した。

(2) ASBC Technical Committee への参加

2021 年は開催中止。

(3) EBC Collaborative Trial

2021 年は BCOJ 加盟 5 社からの参加実績無し。

6. 情報公開活動

(1) 2021 年度 BCOJ 年次大会

2020 年の海外発表と併せて、完全オンライン形式にて開催された。

以上

(文責：乾 隆子)

2021 年度 BCOJ プログラム委員会活動報告

プログラム委員会委員長 岡田 啓介

1. メンバー

2021 年度のプログラム委員会は、下記のメンバーで活動した。

委員長	岡田 啓介	(アサヒビール株式会社)
副委員長	坂口 淳哉	(サッポロビール株式会社)
	岡田 理志	(麒麟ホールディングス株式会社)
	阿部 央行	(サントリービール株式会社)
ビール酒造組合審議役	久保田 寛	2021 年 8 月まで
	善本 裕之	
	川野輪 隆	2021 年 4 月より
	水谷 正憲	2021 年 9 月より
	長谷川 真澄	2021 年 3 月まで

2. 活動目的

BCOJ の活動目的である、「ビール製造技術者相互交流による科学的、技術的研究の促進」「同様の目的を持つ他の国外及び国内の組織との協働」の役割を担う BCOJ 年次大会の企画運営を軸に活動をおこなった。

3. 活動概要

- ・2021 年度のプログラム委員会は、計 7 回開催した（定例 5 回、臨時 2 回）。
- ・2021 年 BCOJ 年次大会は、11 月 11 日、12 日の 2 日間で開催した。COVID-19 の影響下にて、参加者の安全と技術交流を両立する目的で、初のオンライン開催とした。加盟ビール会社からを中心に、計 327 名（事前申込者数に基づく）の参加があった。大会での主な発表は、2020 World Brewing Congress、ASBC Annual Meeting、Master Brewers Conference の再演 12 題（オーラル 8 題、ポスター 4 題）、ASBC 議長ビデオメッセージ（Mr. David Maradyn）、EBC 議長・the Brewers of Europe 執行役員ビデオメッセージ（Mr. Benet Fité Luis, Mr. John Brauer）、招待講演（株式会社インテグリカルチャー代表取締役 CEO 羽生 雄毅 様）であった。報告内容の質も国際的にレベルが高く、参加者からは多くの質疑があり、活発な交流のある年次大会となったと評価している。大会開催については引き続き多数の方々から継続を支持されており、今後もより良い大会となるよう運営を行っていく。

4. 委員会の開催実績

- ・2021年1月25日：第1回定例委員会（オンライン会議）
 - －年次大会企画/準備、招待講演演題の検討
- ・2021年4月12日：第2回定例委員会（オンライン会議）
 - －年次大会企画/大会フォーマットに関する討議、プログラム検討
- ・2021年5月21日：臨時第1回委員会（オンライン会議）

- 大会フォーマットに関する討議
- 2021年7月12日：第3回定例委員会（オンライン会議）
 - 年次大会企画/準備、プログラム検討
- 2021年8月17日：臨時第2回委員会（オンライン会議）
 - 年次大会企画/準備、プログラム検討
- 2021年10月12日：第4回定例委員会（ビール酒造組合会議室）
 - 年次大会企画/準備（最終）
- 2021年11月11日、12日：2021BCOJ年次大会の運営（ビール酒造組合会議室）
- 2021年12月2日：第5回定例委員会（ビール酒造組合会議室）
 - 年次大会振り返り、プログラム委員会引継ぎ書作成、2020年の活動/スケジュール議論

以上

（文責：岡田 啓介）